

製品名: APEX1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81854**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	35.6kDa

抗原情報

遺伝子名	APEX1
別名	APE; APX; APE1; APEN; APEX; HAP1; REF1
遺伝子 ID	328.0
SwissProt ID	P27695
免疫原	大腸菌で発現したヒト APEX1 (AA: 219-318) の精製された組み換え断片。

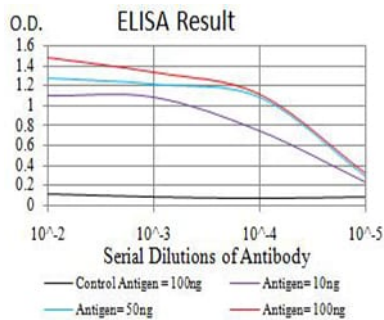
背景

無プリン/無ピリミジン (AP) 部位は、DNA 分子中に自発的な加水分解、DNA 損傷因子、または特定の異常塩基を除去する DNA グリコシラーゼによって頻繁に発生します。AP 部位は、正常な DNA 複製を妨げる可能性のある変異誘発前の損傷であるため、細胞

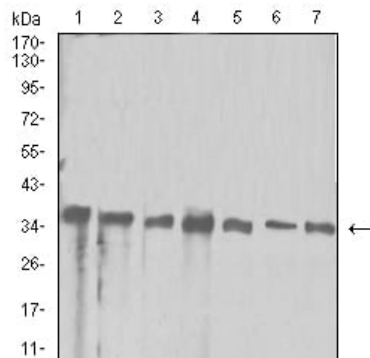
はそのような部位を識別して修復するシステムを備えています。クラス II AP エンドヌクレアーゼは、AP 部位の 5'側のホスホジエステル骨格を切断します。この遺伝子は、ヒト細胞における主要な AP エンドヌクレアーゼをコードしています。この遺伝子にはスプライズバリエーションが見つかっており、すべて同じタンパク質をコードしています。

研究分野

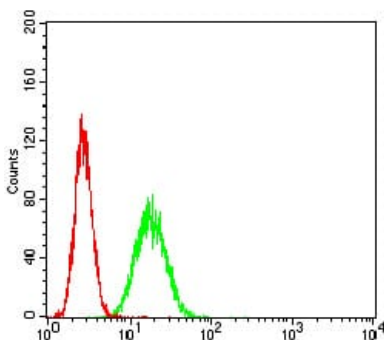
画像データ



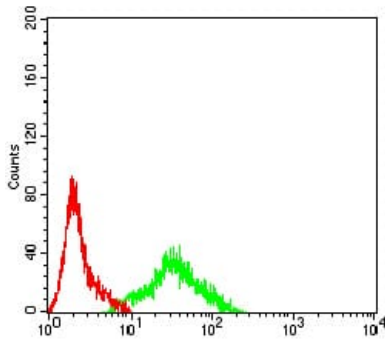
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



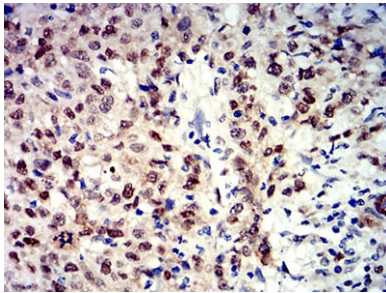
APEX1 マウス mAb を用いた HeLa (1)、Jurkat (2)、SW480 (3)、A431 (4)、HepG2 (5)、NIH/3T3 (6)、および PC-12 (7) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



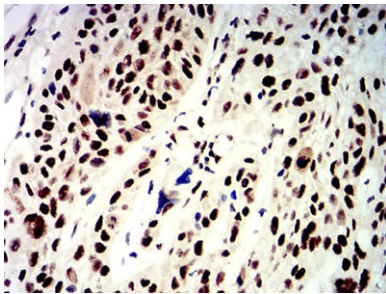
APEX1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



APEX1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した SK-N-SH 細胞のフローサイトメトリー分析。



APEX1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト乳がん組織の免疫組織化学分析。



APEX1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。